

No. 998

浩宮、礼宮さまの春

2月21日、学習院初等科の学芸会に1年生の礼宮さまが出演されました。
「おいしいみつがほしいなあ」という劇の中で、ミツを探しているアリをいじめるムカデの役。
「おいらはムカデ、なんでもかんでもペロリダゾ」
と大声で歌いながらの熱演。

「本当はアリになりたかったんだよ」と悪役にちょっぴり不満顔の礼宮さま。
同じ学習院中等科1年の浩宮さまは23日、満13才の誕生日を迎えられました。
御所内のテニスコートで皇太子さまのコーチをうけ、テニスの練習に励まれる浩宮さまは一段とたくましくなられた様子。
中学生活も、すっかり板につき、クラブ活動にも積極的に参加され、合宿でも室長など良きリーダーぶりを發揮されている。
それぞれ成長された礼宮、浩宮さまの春の一日です。

オリの中の子供たち

東京北郊にある高島平団地は一万二百世帯を誇る日本住宅公団の団地としては日本一大団地である。この団地内にある三つの小さな保育園はいづれも鳥かごのように頭からすっぽりと金網をかぶっている。頭上から思わず襲撃に会うからだ。

すべての棟が十一階から十四階という高層化団地では高層ビルが起こす『乱気流』も手伝って落下物が絶えない。この加速をつけた落下物は強力な破壊力を秘めている。地上でたたきつけられたビンは原形をとどめないくらいの破片となって飛び散り物干ざおはバラバラに裂けた。

『子供に万一のことがあっては』と、板橋区ではこの程頭上に防護網を完成、子供たちはオリの中の子供に変身した。

すみれ保育園の坂江園長は

『いつも頭の上に網がかぶさっている圧迫感があるのか、子供たちは前程、庭で遊ばなくなりました。その上日当りが悪くってね。』と歎く。保育園を視察に来た児童シビルミニマム研究会の寺脇さんは

『これが72年に作られたものとは、とても思えない。これでは子供たちがかわいそうだ。』とあきれた様子。

『まだ、出来あがって間もないし、その心理的な影響については何もいえない。』
とは言うものの、よくないことだけは確かなようだ。